

## 和文著書・原著

### 学会誌；

門間文彦、上野 聡、山口素子、俵 功、宮崎香奈、西井一浩、中瀬一則、片山直之：

4年以上完全寛解を維持している広範な眼窩病変を有し肝機能障害を呈した鼻NK/T細胞リンパ腫.

臨床血液 50(1):44-48 (2009年1月)

田中紀行、杉村公也、島崎博也、出口 晃、鈴木恵理、川村陽一、美和千尋、白石成明：

足浴による温熱作用が健常成人の運動機能に与える影響—性差による足浴温熱効果の特徴—.

日本温泉気候物理医学会誌 72(2):141-147 (2009年2月)

荒木裕登、山中幸典、酒井 崇、松浦明子、岡井美鈴、田中友晴、齋藤友季子、青沼宏深、向井賢司、片山直之、齋藤純一：

終末期前立腺癌のホットフラッシュに対しガバペンチンが著効した1例.

Palliative Care Research 4(2):334-338, 2009

山口素子：

【リンパ系腫瘍 新WHO分類(第4版)はどのように変わったか】 成熟T細胞・NK細胞腫瘍.

臨床血液 50(4):253-260 (2009年4月)

杉本由香、西井一浩、宮田恵里、藤枝敦史、山口素子、榊屋正浩、片山直之：  
同種骨髄非破壊的移植後に形質細胞腫で再発・増悪した多発性骨髄腫3例の報告

臨床血液 50(4):289-294 (2009年4月)

影山慎一、珠玖 洋：

がん診療 update:免疫療法

日本医師会雑誌

138(特別1):S138-S139 (2009年6月)

山中幸典、荒木裕登、酒井 崇、松浦明子、岡井美鈴、田中友晴、齋藤純一：  
難治性の嘔気・嘔吐に対しオランザピンを投与した2例。

日本緩和医療薬学会誌 2(2):45-49 (2009年7月)

松崎晋平、岡野 宏、西川健一郎、佐瀬友博、斉藤知規、向 克巳、真口宏介：  
十二指腸乳頭部腫瘍に対する内視鏡診断と内視鏡治療。

日本消化器内視鏡学会雑誌 51(8):1738-1747 (2009年8月)

美和千尋、島崎博也、田中紀行、出口 晃、鈴木恵理、杉村公也、川村陽一：  
足浴が健常高齢者の脳循環状態と認知機能に及ぼす影響

日本温泉気候物理医学会誌 72(4):250-255 (2009年8月)

兼児敏浩、石橋美紀、日比美由紀：

患者ハラスメントの実態調査とその対策に関する研究

日本医療マネジメント学会雑誌 10(2):399-403 (2009年9月)

宮崎香奈、山口素子、小林 透、片山直之：

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫における遺伝子発現プロファイリング-CD21  
抗原発現による比較-

臨床血液 50(11):1595-1600 (2009年11月)

鈴木 圭、関根隆夫：

メル酸イマチニブ併用化学療法中に壊疽性膿瘡を合併したフィラデルフィア染色体陽性急性  
混合性白血病

感染症学雑誌 83(6):669-672 (2009年11月)

**研究報告書；**

西川博嘉：

CD4+ヘルパーT 細胞の選択的活性化

上原記念生命科学財団研究報告書 23:1-5 (2009 年 12 月)

兼児敏浩、石橋美紀、日比美由紀：

手術関連有害事象を効率的に把握するための研究

厚生労働科学研究費補助金平成 20 年度分担研究報告書

**商業誌；**

小林一彦、金子昌史、藤原雅也、大坪真紀、小倉 英、井坂利史、今井奈緒子、  
直田浩明、谷口賢二：

FOLF0X を 39 コース投与した直腸癌 CR 例の 1 例.

癌と化学療法 36(1):135-138 (2009 年 1 月)

西川政勝、田丸智巳、西川健一郎

特色ある抗血小板薬

Pharma Media 27(1): 35-39, 2009.

片山直之、菅原由美子、伊野和子：

【骨髄増殖性疾患 新たな展開】骨髄増殖性腫瘍の新たな分類  
細胞 41(3):88-89 (2009 年 3 月)

珠玖 洋：

【がんの免疫療法の進歩と限界】序 がんの免疫療法の進歩と限界  
血液フロンティア 19(4):527-530 (2009 年 3 月)

西川博嘉：

【がんの免疫療法の進歩と限界】腫瘍増殖における制御性 T 細胞の役割とその  
解除法

血液フロンティア 19(4):541-548 (2009 年 3 月)

荒木裕登：

クロマチン修飾薬を用いたヒト造血幹細胞の増幅の試み.  
三重医学 52(1-4):61 (2009年3月)

鈴木 圭、伊野和子、関根隆夫：  
特徴的な臨床所見により診断したアジア変異型血管内リンパ腫  
内科 103(3):570 (2009年3月)

榊屋正浩、宮田恵里、片山直之：  
【解説】肝星細胞の起源の解明  
血液・腫瘍科 58(4):468-472 (2009年4月)

山口素子：  
【WHO分類改訂と悪性リンパ腫の病理診断】 治療選択に有用な疾患単位認識と  
WHO分類改訂.  
血液・腫瘍科 58(5):568-574 (2009年5月)

山際健太郎、伊佐地秀司 兼児敏浩 竹田 寛：  
中心静脈カテーテルによる医原性心タンポナーデの1例  
静脈経腸栄養 24(3):811-816 (2009年5月)

高山玲子、山雄健次、小林一彦、直田浩明、今井奈緒子、藤原雅也、金子昌史、  
浦出伸治、澤木明、水野伸匡、高木忠之、原和生、清水泰博、矢田部恭：  
【胆膵疾患におけるUS/EUS診断・治療の最前線】 EUS-FNAによる膵癌の遺伝子  
診断.  
胆と膵 30(7):739-742 (2009年7月)

田中匡介、野田知宏、葛原正樹、濱田康彦、青木雅俊、竹井謙之：  
【色素内視鏡を見直す 画像強調観察法との比較】 フルオレセインを用いた蛍  
光拡大内視鏡による早期胃癌診断  
臨床消化器内科 24(10):1373-1377 (2009年8月)

宮崎香奈、山口素子：

遺伝子発現解析からみた $\gamma\delta$ T 細胞リンパ腫の特徴

血液・腫瘍科 59(2):203-208 (2009年8月)

山口素子:

【悪性リンパ腫治療の進歩 限局期症例は治癒可能か】 限局期悪性リンパ腫治療の進歩 鼻NK/T細胞リンパ腫.

カレントセラピー 27(8):696-701 (2009年8月)

森 章哉、岩本卓也、三谷英嗣、伊藤竜吾、川上恵基、奥田真弘、中村祐子:

(R-)CHOP 療法に伴う便秘の予防を目的にした酸化マグネシウムの投与開始時期に関する検討

医療薬学 35(9):644-648 (2009年9月)

池田裕明、珠玖 洋:

がん免疫応答の分子機構 CD8<sup>+</sup>細胞障害性 T 細胞の制御による抗腫瘍免疫増強 (養子免疫療法・蛋白ワクチン)

実験医学 27(14):2176-2184 (2009年9月)

門間文彦、片山直之:

【骨髄性白血病 病因・治療研究の進歩】 合併症のコントロール 骨髄性白血病における感染症のコントロール.

日本臨床 67(10):1969-1973 (2009年10月)

黒川峰夫、松末考生、川上恵基、尾崎修治、大口裕人 (座談会):

合併症 (高齢者、腎機能障害、骨症状) のある骨髄腫の治療について.

血液フロンティア 19(11):1731-1740 (2009年10月)

西川政勝、田丸智巳:

【抗血小板薬をめぐる最近の話題】 抗血小板薬とその作用機序

臨床薬理 40(6):253-260 (2009年11月)

珠玖 洋:

【がんワクチンの展望】 アプローチ がんワクチンのブレイクスルーを目指して

最新医学 64(11):2341-2348 (2009年11月)

池田裕明：

【がんワクチンの展望】 細胞移入療法とがんワクチン -効果的な複合的免疫両方の開発-

最新医学 64(11):2420-2427 (2009年11月)

西川博嘉：

免疫調節機構のがん免疫療法への応用；GITR と CTLA-4.

最新医学 64(11):2434-2439 (2009年11月)

山口素子：

【造血器腫瘍とCD抗原】B細胞リンパ腫の予後因子としての異所性CD抗原発現.  
血液・腫瘍科 59(6):677-684 (2009年12月)

豊田英樹、田邊菜穂、中瀬美紀子、豊田美香、豊田長世：

カプセル内視鏡検査がNSAIDs小腸潰瘍の診断に有用であった1例.

三重医報 578:33-35, 2009

**書籍；**

血液内科ベッドサイドメモ

編著：小松則夫、片山直之

中外医学社 (2009年6月)

(第二内科からは片山直之、西川政勝、中瀬一則、榊屋正浩、西井一浩、大石晃嗣、山口素子、杉本由香、藤枝敦史、松本剛史、田丸智巳、門間文彦の諸先生が分担執筆している)

池田裕明、珠玖 洋：

内科学総論 病因・病態 感染、免疫、アレルギー、「免疫異常」

内科学書 改訂第7版 中山書店

田丸智巳、西川政勝

血小板系分子マーカー（ $\beta$ -トロンボグロブリン、血小板第4因子、トロンボキサン、P-セレクチン、フローサイトメトリーによる活性化血小板の検出）

臨床検査ガイド 2009-2010, Medical Practice 編集委員会編. 文光堂, 東京, pp344-346, 2009.

田丸智巳、西川政勝

第2章 本態性血小板血症：治療

最新医学別冊 新しい診断と治療のABCシリーズ 63「血小板減少症・増多症」, 池田康夫編. 最新医学社, 大阪, pp65-73, 2009.

豊田英樹、田中匡介、竹井謙之：

B a r r e t t 食道－拡大観察・写真撮影の基本とコツ.

症例で身につける消化器内視鏡シリーズ 食道・胃・十二指腸診断.

田尻久雄、小山恒男編

羊土社、東京、2009 ; 116-121.

豊田英樹、田中匡介、竹井謙之、郷田憲一：

B a r r e t t 食道－表面微細構造および微小血管パターン分類と意義.

症例で身につける消化器内視鏡シリーズ 食道・胃・十二指腸診断.

田尻久雄、小山恒男編

羊土社、東京、2009 ; 122-125.

出口 晃：

脳血管障害・老年期認知症.

新・湯治のすすめ、合田純人編、NPO 法人健康と温泉フォーラム、東京、pp23-25, 2009

出口晃：

温泉を活用してリハビリに取り組み、「医療」「福祉」の連携と地域福祉の向上を

目指す.

『高齢者・障害者のための福祉用具活用の実務』追録第 71～72 号、第一法規、東京、pp5051-5058、2009

兼児敏浩：

Autopsy imaging ガイドライン 第 2 章の 6、第 6 章、第 7 章の一部  
日本放射線科専門医会・医会 Ai ワーキンググループ他編 2009 年 11 月 ベクトル・コア社

宮崎香奈、小林 透：

血管免疫芽球性 T 細胞リンパ腫 (AITL)  
改定第 4 版 造血器腫瘍アトラス pp408-410 日本医事新報社

山口素子：

非ホジキンリンパ腫.  
山口 徹ほか編、今日の治療指針 2009 年版、医学書院、東京、2009, pp509-511

山口素子：

びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に対する適切な初期治療は？  
神田善伸、編、臨床に直結する血液疾患診療のエビデンス、文光堂、東京、2009, pp266-270

山口素子：

CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫<臨床と病理>.  
吉野 正、ほか編著、悪性リンパ腫 臨床と病理—WHO 分類第 4 版に基づいて、先端医学社、東京、2009, pp228-233

山口素子：

鼻 NK 細胞リンパ腫の治療法は？  
押味和夫、ほか編、EBM 血液疾患の治療 2010-2011、中外医学社、東京、2009, pp398-403

山口素子：

Case 22 節外性NK/T細胞リンパ腫、鼻型.

高久史麿ほか編、New 専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ、中外医学社、東京、2009、pp225-232

山口素子：

リンパ球系 NK 細胞リンパ腫.

Annual Review 血液 2009:158-165 (2009年1月)

山口素子、中村栄男：

皮下脂肪組織炎様 T 細胞リンパ腫.

押味和夫監修、WHO 分類第 4 版による白血病・リンパ系腫瘍の病態学、中外医学社、東京、pp345-346、2009

山口素子：

予後推測および治療選択に有用な疾患単位の認識.

飛内賢正ほか編、悪性リンパ腫治療マニュアル改訂第 3 版、南江堂、東京、pp54-58、2009

山口素子：

鼻腔・副鼻腔のリンパ腫.

飛内賢正ほか編、悪性リンパ腫治療マニュアル改訂第 3 版、南江堂、東京、pp206-208、2009

山口素子、小口正彦：

RT+DeVIC 療法.

飛内賢正ほか編、悪性リンパ腫治療マニュアル改訂第 3 版、南江堂、東京、pp259-264、2009

水野聡朗、斉藤佳菜子、北野滋久、谷口正益

レシピ 乳がん

南山堂 (2009年1月)

水野聡朗

Unite : 化学療法による有害事象としての貧血  
エルゼピア・ジャパン No.5, 2009

水野聡朗

みんなに役立つ乳癌の基礎と臨床 (分担執筆) : アンスラサイクリン、タキサン  
耐性例での治療  
医薬ジャーナル 2009年7月